

院内コーディネーターに 期待する事

院内コーディネーター研修会

2011年10月2日

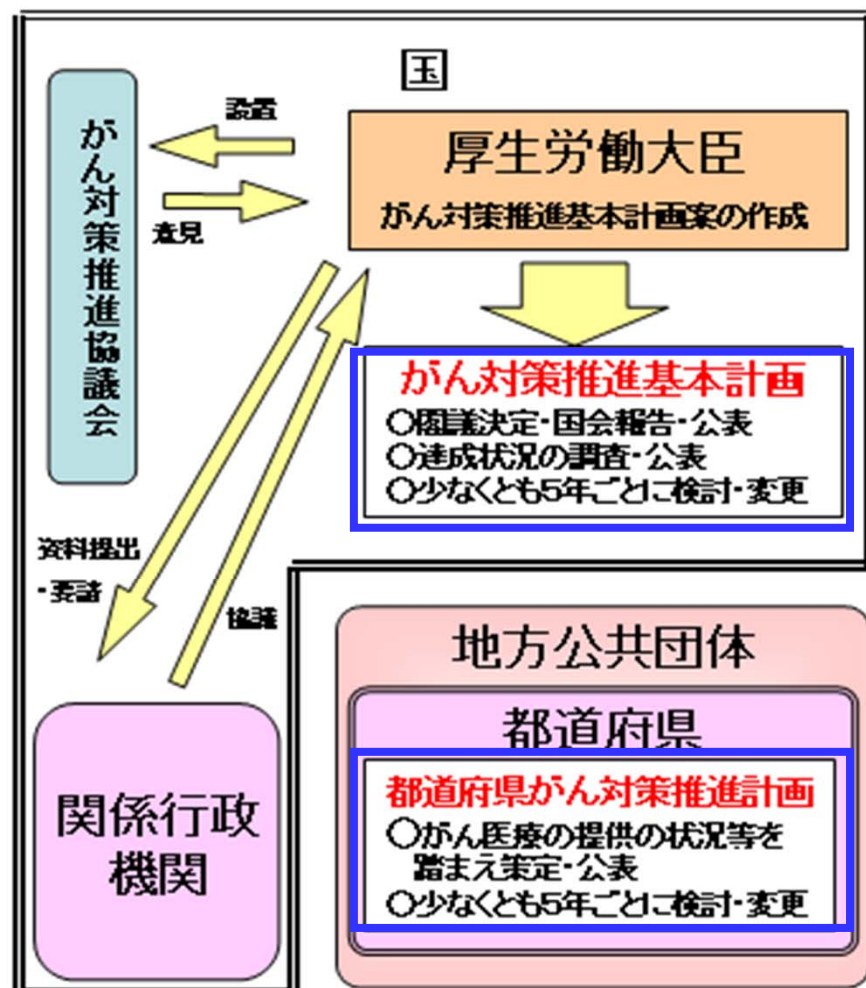
於；社会保険中京病院

がん患者さんの思い



がん対策基本法 (平成18年6月成立)

がん対策を総合的に策定・実施



基本的施策

がんの予防及び早期発見の推進

- がんの予防の推進
- がん検診の質の向上等

がん医療の均てん化の促進等

- 専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成
- 医療機関の整備等
- がん患者の療養生活の質の維持向上
- がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等

研究の推進等

がん対策推進基本計画 (平成19年6月閣議決定)

重点的に取り組むべき課題

(1)放射線療法・化学療法の推進、
これらを専門的に行う医師等の育成

(2) 治療の初期段階からの
緩和ケアの実施

(3)がん登録の推進

全体目標【10年以内】

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

全てのがん患者及びその家族の
苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上

分野別施策及びその成果や達成度を計るための個別目標

1. がん医療

①放射線療法及び化学療法推進並びに医療従事者の育成
②緩和ケア ③在宅医療 ④診療ガイドラインの作成 ⑤その他

- ☆ すべての拠点病院において、放射線療法及び外来化学療法を実施【5年以内】
- ☆ 全てのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得【10年以内(運用上5年以内)】

2. 医療機関の整備等

- ☆ すべての2次医療圏において、概ね1箇所程度拠点病院を設置【3年以内】
- ☆ 5大がんに関する地域連携クリティカルパスを整備【5年以内】

3. がん医療に関する相談支援及び情報提供

- ☆ すべての2次医療圏において、相談支援センターを概ね1箇所以上整備【3年以内】

4. がん登録

- ☆ 院内がん登録を実施している医療機関を増加

5. がんの予防

- ☆ 未成年者の喫煙率を0%とする【3年以内】

6. がんの早期発見

- ☆ がん検診の受診率について、50%以上とする【5年以内】

7. がん研究

- ☆ がん対策に資する研究をより一層推進

あいちのがん対策推進計画(H19)

分野	取り組み項目（指標）	現状	目標
治療	拠点病院の運営に必要な支援を行う	県支援 12 病院	必要な支援を行う
	<u>全拠点病院で5大がんに関する地域連携クリティカルパスの整備</u>	なし	全拠点病院に整備
	全拠点病院に病理専門医を複数配置	14 拠点病院中 9 病院	全拠点病院に複数配置
	がん医療に携わる全ての医師が緩和ケアの基本的知識を習得	—	がん医療に携わる全医師が習得
	緩和ケアの知識、技能を習得しているがん医療の医師数の増加	—	知識等を習得した医師数の増加
	全2次医療圏で緩和ケアチームを設置している医療機関を複数整備	—	全2次医療圏に複数整備
	全拠点病院に緩和ケアに係る専門看護師又は認定看護師を配置	日本看護協会専門看護師 ・がん看護 14 拠点病院中 1 病院 日本看護協会認定看護師 ・緩和ケア 14 拠点病院中 7 病院 ・がん性疼痛看護 14 拠点病院中 3 病院	全拠点病院に配置
	全拠点病院に緩和ケア診療加算を算定できる緩和ケアチームを設置	14 拠点病院中 3 病院	全拠点病院に設置
	全拠点病院の緩和ケアチームに精神腫瘍医を配置	14 拠点病院中 5 病院	全拠点病院に配置
	全拠点病院に緩和ケア外来（ペインクリニックを含む）を設置	14 拠点病院中 11 病院	全拠点病院に設置
	住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる患者数の増加	—	家庭や地域での療養を選択できる患者数の増加
	全拠点病院で放射線療法及び外来化学療法を実施できる体制の整備	14 拠点病院全て自院で実施	全拠点病院に整備
	都道府県拠点病院と特定機能病院は放射線療法部門及び化学療法部門設置	対象3病院中3病院	対象病院に設置

地域連携パス



地域連携パスの構成要素

1. エビデンスブック
2. パスを使って行う診療のプロトコール
3. 患者情報(診療情報提供書)・同意書
4. 決定した連携医療機関の役割分担表
5. 共同診療計画表(医療者用パス)
6. 医療者用データシート
7. 患者用診療計画表(患者用パス)
8. 患者用セルフチェックシート
9. 患者用情報冊子

- ・ [トップページ](#)
- ・ 地域連携バス部会
 - ・ [がん地域連携バスネットワーク構築バス](#)
 - ・ [肺がん地域連携バス説明資料](#)
 - ・ [バス運用資料](#)
- ・ 地域連携バス
 - ・ [大腸がんバス](#)
 - ・ [胃がんバス](#)
 - ・ [肝がんバス](#)
 - ・ [肺がんバス](#)
 - ・ [乳がんバス](#)
 - ・ [バスひな型](#)
 - ・ [バス説明・同意書](#)
- ・ 地域連携バス
コーディネーター
 - ・ [院内コーディネーター支援用ツール](#)

愛知県 がん診療連携協議会 地域連携バス部会

更新情報

2011/7/28 [院内コーディネーター支援用ツール](#)を掲載しました。
 2011/5/9 [地域連携バス 共通説明書・同意書](#)を掲載しました。
 2011/3/14 [乳がん地域連携バス説明書・同意書](#)を掲載しました。
 2010/7/12 [乳がん地域連携バス](#)を掲載しました。
 2010/2/25 [バス運用資料](#)を掲載しました。
 2009/9/8 愛知県がん診療連携協議会 地域連携バス部会ホームペ

掲載されているファイルには一部、マイクロソフト オフィス 2007形式のものがありません。

2007より前のオフィスで開くには [Microsoft Office 互換機能パック](#) をインストールして下さい。

- ・ [トップページ](#)
- ・ 地域連携バス部会
 - [がん地域連携バスネットワーク構築バス](#)
 - [肺がん地域連携バス説明資料](#)
 - [バス運用資料](#)
- ・ 地域連携バス
 - [大腸がんバス](#)
 - [胃がんバス](#)
 - [肝がんバス](#)
 - [肺がんバス](#)
 - [乳がんバス](#)
 - [バスひな型](#)
 - [バス説明・同意書](#)
- ・ 地域連携バスコーディネーター
 - [院内コーディネーター支援用ツール](#)

胃がんバス

胃癌連携バスの運用方法

2011/5/9

[胃癌連携バスの運用方法](#)

医療者用

胃癌術後地域連携バス

2011/5/9

[胃癌術後地域連携バス](#)

共同診療計画書


2010/4/10

[共同診療計画書\(Stage Ia\)](#)

2010/4/10

[共同診療計画書\(Stage Ib\)](#)

2010/4/10

 [共同診療計画書\(Stage II,III\)](#)

患者用

胃癌術後地域連携バス

2011/1/25

[胃癌術後地域連携バス](#)

共同診療計画書

2010/4/10

[共同診療計画書\(Stage Ia\)](#)

検査データ記入用紙 (Stage 2, 3)

年 (月 / 日)		第1クール投与開始日 (/)	投薬14日目 (/)	投薬28日目 (/)	2週休 薬	第2クール投与開始日 (/)
バイタル	体温	(°C)	(°C)	(°C)		(°C)
	血圧	/	/	/		/
	HR	回/分(整・不整)	回/分(整・不整)	回/分(整・不整)		回/分(整・不整)
	体重	(kg)	(kg)	(kg)		(kg)
診察	PS	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	食欲不振	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	悪心嘔吐	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	下痢	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	口内炎	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	倦怠感	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4	0・1・2・3・4		0・1・2・3・4
	色素沈着	0・1・2部位()	0・1・2部位()	0・1・2部位()		0・1・2部位()
検査	WBC	<input type="checkbox"/> WBC>3000	<input type="checkbox"/> WBC>3000	<input type="checkbox"/> WBC>3000		<input type="checkbox"/> WBC>3000
	好中球	<input type="checkbox"/> 好中球>1500	<input type="checkbox"/> 好中球>1500	<input type="checkbox"/> 好中球>1500		<input type="checkbox"/> 好中球>1500
	Hb	<input type="checkbox"/> Hb>9.0	<input type="checkbox"/> Hb>9.0	<input type="checkbox"/> Hb>9.0		<input type="checkbox"/> Hb>9.0
	PLT	<input type="checkbox"/> PLT>10万	<input type="checkbox"/> PLT>10万	<input type="checkbox"/> PLT>10万		<input type="checkbox"/> PLT>10万
	T.Bil	<input type="checkbox"/> T.Bil<ULN×2	<input type="checkbox"/> T.Bil<ULN×2	<input type="checkbox"/> T.Bil<ULN×2		<input type="checkbox"/> T.Bil<ULN×2
	GOT/GPT	<input type="checkbox"/> GOT/GPT <ULN×2	<input type="checkbox"/> GOT/GPT <ULN×2	<input type="checkbox"/> GOT/GPT <ULN×2		<input type="checkbox"/> GOT/GPT <ULN×2
	Cr	<input type="checkbox"/> Cr<ULN				<input type="checkbox"/> Cr<ULN
	CEA	()				()
	CA19-9	()				()

胃癌の地域連携パス(医療者用)

A4の資料冊子

パス説明

同意書

患者情報

共同診療計画書(オーバービューパス)

診療方針、成績(ガイドラインより)

胃癌の地域連携パス(患者用)

A5のバインダー形式

パス説明

患者情報(患者データ) + 結い日記

共同診療計画書

検査データ記入用紙

病気の説明

各種の情報

服薬日誌など

結い日記の中の患者用情報

がん共通の情報

+

- パスの一般論について
- がんの一般論について
- 化学療法について
- 放射線治療について
- 緩和ケアについて
- 生活上の留意点について
- 相談窓口について
- 費用について

がんごとに特有の情報

服薬日誌

がんについて



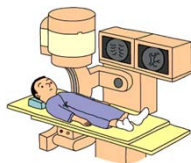
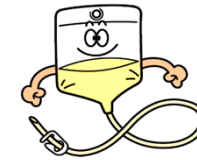
🌸 がんってどんな病気？

体の中の細胞が何らかの異常を起こした結果生じる病気のことを言います。このがん細胞は、生体内のバランスを無視して増殖を続け、正常組織の働きを阻害したり、血流やリンパの流れに乗って肝、肺、脳、骨などの重要臓器に転移してその働きを低下させ、放置すれば生命を脅かすことになる病気です。



🌸 一口にがんと言っても・・・

同じ臓器にできたがんでも、きわめてゆっくり発育するものから進行の早いものまで、いろいろな種類があります。発生した臓器によっても性質が異なり、手術治療が有効なもの、抗がん剤がよく効くもの、放射線に感受性があるものなどさまざまです。あなたの病気に最も適した治療法を選択することが重要です。



いろいろあるのね。
先生とよく相談しないとね。



🌸 がんとうまく付き合っていくためには？

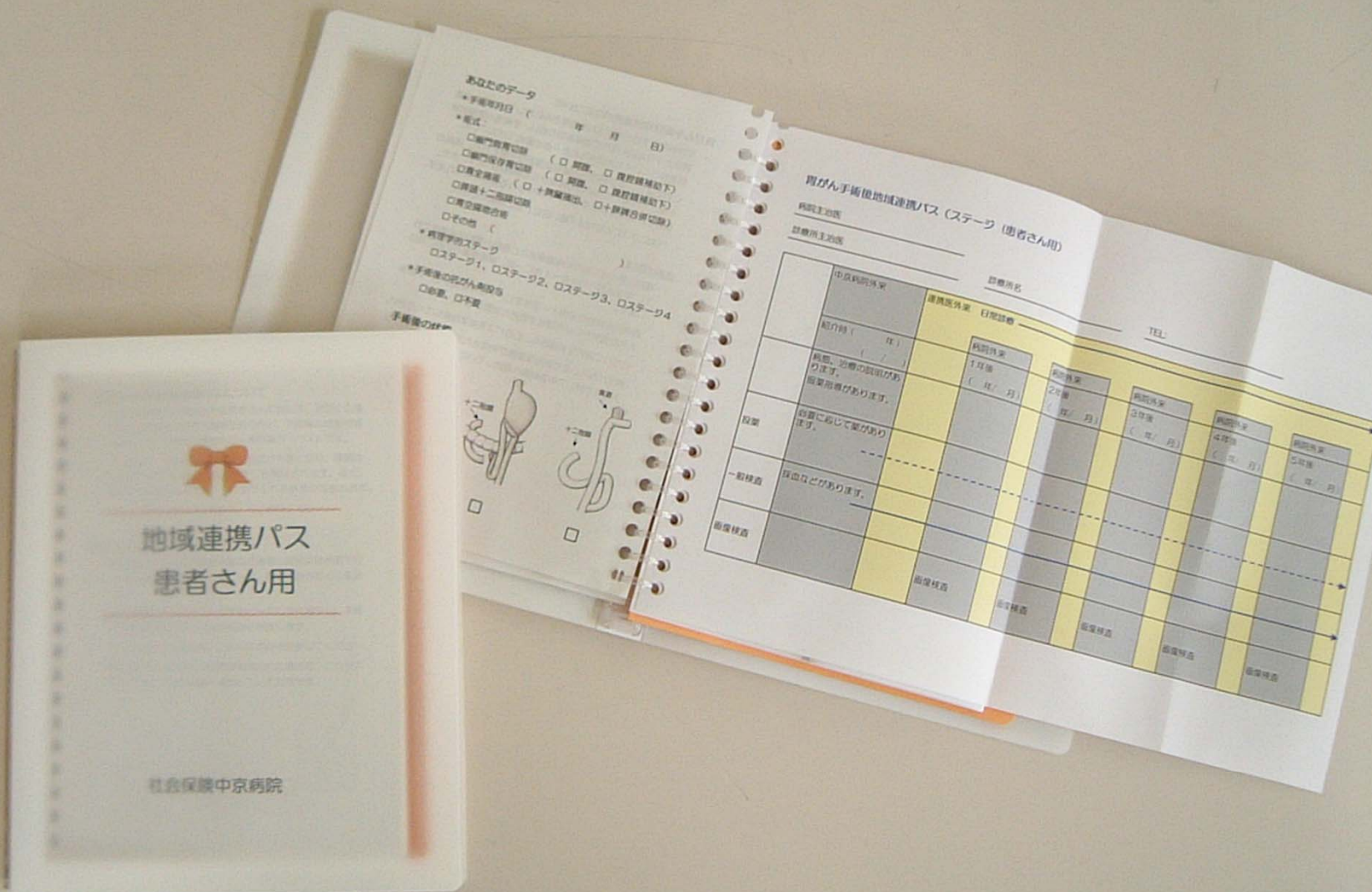
まずは、予防が大切です。次に重要なのは早期発見で、適切な治療によりほぼ完治します。予防や早期発見が叶わなかった場合でも、それぞれのがんに適した治療を行い、継続した経過観察(通常は5年間)を行うことで十分に病気に太刀打ちできます。また、完治を望めないような場合でも、適切な治療を継続することによりがんと共に生活しながら日常生活を過ごしていくことが可能です。



🌸 発想を変えましょう！



患者用パスの実物



連携パス院内コーディネーターの役割 ～連携パスを患者に適応する～

1. 入院時の導入 → 退院後の連携について説明
2. 手術後の説明 → 主治医と共に逆紹介と連携パスの利用を提案
3. 連携先確保 → コーディネーターが患者へ追加説明
→ 患者の意向に沿った連携先施設の確保
4. パスの作成 → 医療者用パス、患者用パスのセットアップ
5. 連携先施設との調整 → パス運用法の確認と患者紹介
6. パスの開始登録 → パス開始の院内登録と定期報告
7. 共同診療支援 → 3者のスケジュール管理・調整、書類記入支援、
記録用紙のコピーや保管、患者の相談・支援

支援ツールを作りました！

- ・ [トップページ](#)
- ・ 地域連携バス部会
 - ・ [がん地域連携バスネットワーク構築バス](#)
 - ・ [肺がん地域連携バス説明資料](#)
 - ・ [バス運用資料](#)
- ・ 地域連携バス
 - ・ [大腸がんバス](#)
 - ・ [胃がんバス](#)
 - ・ [肝がんバス](#)
 - ・ [肺がんバス](#)
 - ・ [乳がんバス](#)
 - ・ [バスひな型](#)
 - ・ [バス説明・同意書](#)
- ・ 地域連携バス
コーディネーター
 - ・ [院内コーディネーター支援用ツール](#)

愛知県 がん診療連携協議会 地域連携バス部会

更新情報

2011/7/28 [院内コーディネーター支援用ツール](#)を掲載しました。
2011/5/9 [地域連携バス 共通説明書・同意書](#)を掲載しました。
2011/3/14 [乳がん地域連携バス説明書・同意書](#)を掲載しました。
2010/7/12 [乳がん地域連携バス](#)を掲載しました。
2010/2/25 [バス運用資料](#)を掲載しました。
2009/9/8 愛知県がん診療連携協議会 地域連携バス部会ホームペ

掲載されているファイルには一部、マイクロソフト オフィス 2007形式のものがあります。
2007より前のオフィスで開くには [Microsoft Office 互換機能パック](#) をインストールして下さい。



- ・ [トップページ](#)
- ・ 地域連携バス部会
 - [がん地域連携バスネットワーク構築バス](#)
 - [肺がん地域連携バス説明資料](#)
 - [バス運用資料](#)
- ・ 地域連携バス
 - [大腸がんバス](#)
 - [胃がんバス](#)
 - [肝がんバス](#)
 - [肺がんバス](#)
 - [乳がんバス](#)
 - [バスひな型](#)
 - [バス説明・同意書](#)
- ・ 地域連携バス
コーディネーター
 - [院内コーディネーター支援用ツール](#)

院内コーディネーター支援用ツール

5大がん連携バスの綴り方一覧

2011/7/28

[5大がん連携バスの綴り方一覧](#)

連携バスを病院に導入するためのチェックリスト

2011/7/28

[連携バスを病院に導入するためのチェックリスト](#)

連携バスを病院に導入するためのQ&A

2011/7/28

[連携バスを病院に導入するためのQ&A](#)

地域連携バスを患者へ運用する手順

2011/7/28

[地域連携バスを患者へ運用する手順](#)

患者向け地域連携バスの啓発チラシ

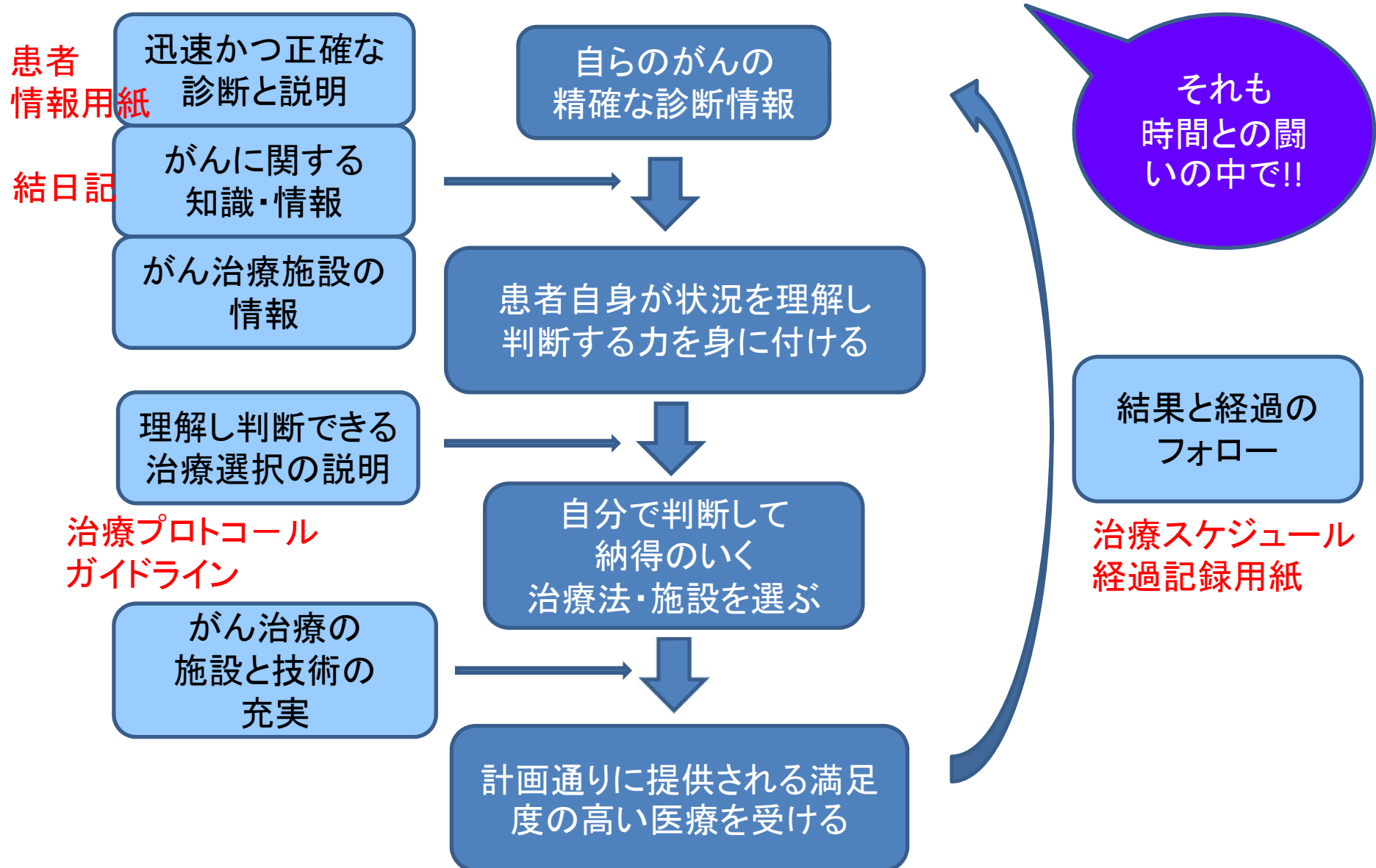
2011/7/28

[患者向け地域連携バスの啓発チラシ](#)

愛知県統一地域連携パス 構成要素の機能と綴り方(1)

主な機能	大腸がん		胃がん		肝がん	
	分類	用紙の名称 綴り準	分類	用紙の名称 綴り準	分類	用紙の名称 綴り準
表紙 地域連携パスの概念 地域連携パスの実態 データ記入用紙の記載法 術後経過で特に注意を要する点 補助化学療法について 休薬、減量の目安 ステージの解説	医療者用	1 大腸がん術後地域連携パス(医療者用) 1.1	医療者用	1 胃がん術後地域連携パス(医療者用) 1.1	医療者用	1 肝がん術後地域連携パス(医療者用) 1
患者の診療情報(手術情報等)		2 患者データ 1.2		2 患者データ 1.2		2 肝がんの状態 2
医師用の共同診療スケジュールと業務分担		3 共同診療計画書(補助化学療法なし) 共同診療計画書(補助化学療法あり) 2		3 共同診療計画書(Stage Ia) 共同診療計画書(Stage Ib) 共同診療計画書(Stage II, III) 2		3 肝がん共同診療計画書 3
表紙 地域連携パスによる診療について	患者用	1 大腸がん術後地域連携パス(患者用) 1.1	患者用	1 胃がん術後地域連携パス(患者用) 1.1	患者用	1 肝がん術後地域連携パス(患者用) 1
連携開始時の診療情報		2 患者データ 1.2		2 患者データ 1.2		2 肝がんの状態 2
患者用の診療計画説明		3 共同診療計画書(補助化学療法なし) 共同診療計画書(補助化学療法あり) 2		3 共同診療計画書(Stage Ia) 共同診療計画書(Stage Ib) 共同診療計画書(Stage II, III) 2		3.1 肝がん共同診療計画書 3 3.2 受診予定表 5
受診日ごとの診療情報の記載用紙		4 データ記入シート(化学療法なし) データ記入シート(UFT) データ記入シート(UFT+LV) データ記入シート(ゼロータ) 3		4 データ記入シート(Stage Ia) データ記入シート(Stage Ib) データ記入シート(TS1) 3		4.1 データ記入シート 4 4.2 自己チェック表 6
バリエーション発生時の報告用紙						
患者に有意義な情報の提供 患者自身による記録		5 結日記 4		5 結日記 4		5 結日記 7
服薬状況の自己記録		6 服薬手帳(UFT) 服薬手帳(UFT+LV) 服薬手帳(ゼロータ) 5		6 服薬手帳(TS1) 5		
パスの組み立て方 パス記載内容のカルテへの取り込み	コード用	1 大腸がん連携パスの運用方法	コード用	1 胃がん連携パスの運用方法	コード用	1 肝がん連携パスの構成(綴り方)

がんとの闘いは情報戦！



(がん診療) 地域連携パスの機能 ～患者と医療者が情報を共有する～

地域の「診療マニュアル」機能

- がんの治療計画情報（診療ガイドライン）を共有する
- 患者情報を共有する

「チェックリスト」機能

患者に必要な「情報原」

- 計画通りの医療を提供する
- 患者の判断力強化に資する



- 地域の医療資源を生かした不安のないチーム医療を進める
- 病院完結医療から
居宅重視型医療への移行
- 在宅緩和医療への備えとなる。

解決に役立ちませんか？

- 遠くに住む娘のうちの近くの病院で手術を受けたい。
- ゆったりした外来で、現在の病状について、主治医からじっくりと説明を受けたい。
- 通院の負担を軽減したい。
- 情報収集や学習の手段を知りたい。
- 自ら判断するための支援を受けたい。
- 地域の医療資源との橋渡しをして欲しい。

院内コーディネーターの仕事

- 連携パス導入のための説明やパスの作成。
- 連携パス運用のための、患者・病院医・かかりつけ医間の調整と支援。
- 上手な活用で、連携パスの潜在的可能性を引出し、より有用なツールとして活用する。
- パスの改良・追加を通じて、様々な患者の問題のソリューションに役立てることが、最終的なコーディネーターの存在意義。

研修会の到達目標

1. 連携パス普及の目的と意義を説明できる。
2. 愛知県統一地域連携パスを準備できる。
3. 連携パスの使用法を、患者、医師、連携医等に説明できる。
4. 他施設のコーディネータと交流を持ち、相談できる。
5. 連携医を選定できる。